

人こそ人の鏡。

「他人は自分を映す鏡」とはよく言ったもので、自分が発した言葉や行動は必ず周囲に影響を与えます。仲間を引きずり落としてやろう、蹴落としてでも上にいってやろうと想って接すれば相手も間違いなくそう接してくるし、喧嘩腰で接したら相手からも拳が返ってきてしまう。普段から人に優しく接し、ポジティブな気持ちを持っている人にはポジティブな人が集まり、逆に普段から愚痴や不平不満ばかりを言っている、ネガティブな人の周りにはネガティブな人が集まります。人と人とのつながりを大切に、人を尊重して、常に優しく接していれば、相手からも優しさが返ってきます。ただ、優しく接したからといって同じことを求めてはいけません。与えたからといって与えられるのが当然と想っては返ってきません。与え続けることで善は循環し、いつか必ず自分のもとへと戻ってきます。テンポアップの最善の経営戦略であり、成功の掟のひとつでもある“善の循環”は、人と接する上での理想形とも言えます。相手を思いやる気持ちを忘れず、優しさをもって人と接し、自身の魅力を高めることで、自然と魅力あふれる人が周りに集まり、そして周りに魅力的な人が集まれば集まるほど、さらに自身の魅力もたかまっていくのです。

